



矢部高生の投票体験

2月8日、矢部高校で3年生を対象に、町選挙管理委員会主催の出前授業が行われました。これは、選挙権の年齢が18歳に引き下げられていることから現役の高校生にも選挙に興味・関心を持ってもらうと行われたもので、今回で2回目の開催となりました。

講義は、模擬投票の形で町選管職員が演じる架空の候補者2人による演説や事前に配られた架空の公約等を参考に本物の投票箱や記載台を並べた仮想投票所にて、生徒自ら受付・投票・開票まで行いました。高校生からは、有効票と無効票の違いを問う質問などもあり、選挙への関心の高さを伺わせました。

町の選管職員は、「一票はとても大切な権利。決して無駄にせず、自分の意思で決めた候補者に投票してほしい。」と話しました。



おとどけえほん

2月15日、浜町第二保育園で熊本県民テレビアナウンサーの上野聡行さん、今崎宏美さんによる絵本の読み聞かせがありました。これは3月の閉園に伴い、保育園で子どもたちに思い出をいっぱい作ってもらうために保護者会が応募したものです。

上野さんと今崎さんが交互に「はらぺこあおむし」、「へんしんトンネル」、「だるまさんが」など全部で6冊の絵本を読んでもらい子どもたちは終始大喜びの様子で、知っている絵本には身を乗り出してセリフを言う場面も見られました。

浜町第二保育園では子どもたちが豊かな感情を身につけるために一日で朝の会や帰りの会、お昼寝前に毎日約10冊読まれています。



宝くじ助成事業でコミュニティセンターを整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、福良地区の新たなコミュニティの拠点として福良公民館の新築工事が行われました。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業で、財団法人自治総合センターが助成決定を行っています。

この事業により、更なる福良地区のコミュニティ活性化が期待されます。



福良公民館

熊本県高等学校小倉百人一首かるた競技大会

1月28日、熊本西高校で行われた、小倉百人一首かるたの県大会に学校代表として2年生4名、1年生8名で3チームが参加しました。

県大会は、部活で本格的にやっている生徒や競技かるた経験者が参加する「1部」と、それ以外の生徒が参加する「2部」に分かれて行われ、矢部高校の3チームは、2部で参加しました。

残念ながら入賞はなりませんでしたが、1年生にとっては来年につながる経験になったと思います。来年の県大会入賞を目指して頑張ります。



平成28年度交通安全教室記念品贈呈 ～二輪車競技部3年生～

平成28年度交通安全教室の生徒指導者へ、本田技研工業株式会社熊本製作所熊本普及ブロック様から記念品贈呈がありました。生徒指導者（二輪車競技部の3年生5名）

高本君（緑科学科3年、清和中出身）、本田君（緑科学科3年、矢部中出身）、高橋君（緑科学科3年、矢部中出身）、上木君（緑科学科3年、矢部中出身）、坂田君（普通科3年、矢部中出身）

○生徒感想

高橋君（緑科学科3年、矢部中出身）

3年生になってから、本田技研の方たちと原付通学生を対象とした、交通安全教室の生徒指導者として参加しました。座学と実技を指導していく中で、分かりやすく伝えることが難しかったです。また、交通安全教室以外にも二輪車競技部として、原付通学生の模範となるような運転と行動を心掛けてきました。卒業してからも安全運転に心掛けていきたいです。



「巻柿」づくり体験研修 ～食農科学科2年生～

1月24日、上益城農業協同組合巻き柿部会の方々を講師としてお迎えし、巻柿づくり体験研修を行いました。間近で伝統的な技術を見て・学んで・体験することができました。丁寧に教えていただき、巻柿をつくることができました。1つ1つが手作業で、特に稲ワラのヒモを巻いたり結んだりするのが難しく、とても貴重な体験でした。

